

放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 3年2月12日

事業所名: 遠園(デイサービス)事業おれんじくらぶ

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

Table with 6 main columns: 区分, チェック項目, 事業所の現状評価, 保護者の方の評価, 評価を踏まえた改善内容・改善目標. It contains 48 rows of evaluation data across categories like 環境・体制整備, 業務改善, 適切な支援の提供, and 関係機関との連携.

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらかといえばいい	いい	いい	はい	どちらかといえばいい	いい	わからない		
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	3	1			11					
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	4				11					
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施			4	放デイについては実施していない。保護者間の交流の場が持てるように、時間帯は設定したものの、継続した実施が出来なかった。	10			1	子育て支援講座という名称で幼児の保護者を対象にした取り組みを継続しており、そのことを活かして、放デイにおいても時間を活用し、より計画性を持って実施していきたい。	
保護者への説明責任・連携支援(続き)	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	2	2			10	1			「日頃から」という点に焦点を当てれば保護者の都合で利用する機会が少なくなっています。	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	1	3			10	1		同上	多くの保護者はできているとの回答であるが、「どちらともいえない」という回答をしっかりと受け止め、実際に利用回数が減っている時でも、保護者が安心できるよう、相談しやすい環境を整えていきたい。	
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		3	1	保護者会での活動は、講演会等を含み年間実施されている。	5	2		3	行事については例年実施のものは継続されているが、年齢に幅がある事もあってか、常々保護者間で交流や連携という事が難しいところもある。事業所でも保護者が交流できる場面を検討していく。	
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	4			保護者への説明は契約時に説明する。実際に苦情のあった場合はマニュアルに沿って対応し、法人内では定期的に委員会を実施している。	6			5	保護者には契約時に説明、又利用の際に苦情等について窓口がある事を改めて伝える事はありますが、実際の苦情の公表等を直接的にはしていないことから、回答として「わからない」が半端であることを踏まえ、保護者には改めて説明をしたい。	
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	3	1		子どもも保護者も個々に応じて対応に工夫をすることを中心としている。	8			3	保護者の「わからない」という回答を受け止め、職員間で検討したい。	
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	1	2	1	ホームページにて掲載。年に1回、子どもや保護者、スタッフの思いを綴った文集を制作している。(保護者会と共に)事業所内に活動や行事の様子を写真で記録し閲覧してもらっている。	6			5	保護者の回答結果を踏まえ、保護者への発信の方法を検討する。	
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	4			契約時に説明等を行い、その後も十分に配慮している。	9			2	保護者回答を受け止め、不信任が募らないよう、安心してご利用していただけるようにする。	
	非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	4			同法人の保育所との連携により策定している。	5	1		5	職員での周知はしているものの、保護者への周知徹底がなされていないことが回答により確認されたため、周知していきたい。
		2 非常災害の発生に備えた、定期的な避難、救出その他必要な訓練の実施	2	2		同法人の保育所の実施に合わせ、実施している。月1回の避難訓練は事業ごとに、対象児ごとに実施できるように計画はしている。	6			5	様々な時間帯で実施を試みるようし、子どもの特性を考慮した訓練により、実態を想定した際に必要な配慮等を確認できるようにしていきたい。
	非常時等の対応(続き)	3	3	1							
4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載		1	1	2						前年からの課題であるが、身体拘束に関する内容について事業所内でしっかりと確認ができていない為、これについて検討していく必要がある。	
5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応			2	2							
6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底		4			振り返りの機会にヒヤリハットについても考えるようにしている。アクシデントについては確認が取れているが、ヒヤリハットについては職員間でもやや温度差があるかもしれないと感じる。					ヒヤリハットがどういう状況の時かを事例を職に職員間で共通認識し、アクシデントにつながらないようにしたい。	

*その他の意見

支援内容はもちろん、いつもあたたかく出迎えてくれるので感謝しています。